

平成27年度幡多地域アクションプランの追加、拡充、削除項目等について

平成27年度 幡多地域アクションプラン (案) 項目対比表

No.	現在(平成26年度)	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		10	11	13	13	4	12
1	水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成	●	●	●	●	●	●
2	洋ランのブランド確立・流通促進事業	●					
3	有機農業普及・拡大事業			●			
4	6次産業化推進による地域農業振興事業				●		
5	三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築					●	
6	「若山椿」ブランド復活プロジェクト						●
7	弘法大師ゆかりの七立栗 特産品化計画						●
8	有望品目への転換を含めた、大方南部地域の産地再生						●
9	森の工場・間伐の推進	●	●	●	●	●	●
10	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進			●			
11	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業				●		
12	地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進	●					
13	宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進	●					
14	民間企業との連携による水産物の販路拡大	●			●		
15	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業	●					
16	サメ漁業の復活に向けた取組		●				
17	宗田節の販路拡大に向けた取組		●				
18	“川辺の暮らし”を支える豊かな四万十川再生プラン			●			
19	キピナゴ加工商品の生産体制強化				●		
20	大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大				●		
21	直七の生産、加工、販売の促進	●					
22	地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり	●					
23	土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)		●				
24	地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業		●				
25	土佐清水発! 宗田節が良くでる加工施設整備・販路拡大事業		●				
26	地元農産物を使った商品開発事業			●			
27	「いちじょさん市場」を拠点とした中心市街地活性化の推進			●			
28	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト			●			
29	四万十牛の商品開発・販売			●			
30	西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)			●			
31	拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)				●		
32	莓を核とした6次産業化				●		
33	月光桜からはじまる「牧野富太郎のみち」づくり				●		
34	黒潮印の商品開発						●
35	カツオ文化のまちづくり事業						●
36	佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進						●
37	水産物加工施設整備事業						●
38	防災関連新産業創造事業						●
39	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進	●	●	●	●	●	●
40	竜串観光再発見事業		●				
41	土佐清水まるごと戦略観光展開事業		●				
42	足摺・竜串を中心としたジオパークへの取り組みによる交流人口の拡大		●				
43	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進			●			
44	竜ヶ浜自然体験・環境教育交流推進事業				●		
45	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進						●
46	衛生管理強化による干物等水産加工品販路拡大事業				●		
47	四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略の構築			●			

削除

宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	No.	改定案(平成27年度)
●	●	●	●	●	●	1	水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成
●						2	洋ランのブランド確立・流通促進事業
		●				3	有機農業普及・拡大事業
			●			4	6次産業化推進による地域農業振興事業
				●		5	三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築
					●	6	「若山椿」ブランド復活プロジェクト
					●	7	弘法大師ゆかりの七立栗 特産品化計画
●	●	●	●	●	●	8	森の工場・間伐の推進
		●				9	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進
			●			10	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業
●						11	地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進
●						12	宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進
●			●			13	民間企業との連携による水産物の販路拡大
●						14	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業
追加	●					15	加工場の整備による付加価値の高い養殖魚の加工品の販売
	●					16	サメ漁業の復活に向けた取組
	●					17	宗田節の販路拡大に向けた取組
		●				18	「川辺の暮らし」を支える豊かな四万十川再生プラン
			●			19	キビナゴ加工商品の生産体制強化
			●			20	大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大
→			●			21	衛生管理強化による干物等水産加工品販路拡大事業
●						22	直七の生産、加工、販売の促進
●						23	地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり
	●					24	土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)
	●					25	地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業
	●					26	土佐清水発！宗田節が良くてる加工施設整備・販路拡大事業
		●				27	地元農産物を使った商品開発事業
		●				28	「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化の推進
		●				29	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト
		●				30	四万十牛の商品開発・販売
		●				31	西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)
→ 拡充		●				32	四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略の構築
			●			33	拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)
			●			34	苺を核とした6次産業化
			●			35	月光桜からはじまる「牧野富太郎のみち」づくり
					●	36	黒潮印の商品開発
					●	37	カツオ文化のまちづくり事業
拡充					●	38	佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進
					●	39	水産物加工施設整備事業
					●	40	防災関連新産業創造事業
●	●	●	●	●	●	41	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進
	●					42	竜串観光再発見事業
拡充	●					43	土佐清水まるごと戦略観光展開事業
	●					44	足摺・竜串を中心としたジオパークへの取組による交流人口の拡大
		●				45	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進
			●			46	竜ヶ浜自然体験・環境教育交流推進事業
					●	47	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進

幡多地域アクションプランの追加、削除、拡充（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	加工場の整備による付加価値の高い養殖魚の加工品の販売（宿毛市） 【実施主体】（株）勇進	養殖場近辺に加工設備を整備する。原魚の鮮度を保持した付加価値の高い加工品製造に取り組み、通年・一定価格で販売することにより経営の安定化を図り、地域漁家との連携協力体制を構築して、宿毛湾産養殖魚のPRを実施するとともに、漁業者の減少を防ぎ、地域雇用を生み出す。

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 8 有望品目への転換を含めた、大方南部地域の産地再生（黒潮町） 【実施主体】黒潮町、JA高知はた	慢性的水不足地域である大方南部地域において、灌漑事業を導入し主力品目である花きからニラ等への転換を目指していたが、現状は、水不足解消に向けて灌漑事業の導入の合意形成が得られた団地もあれば、地元負担金が高額となることなどから合意形成に至らない団地がある状況である。灌漑事業の工事完了が28年度以降の予定であり、当面は事業の主目的である有望品目への転換が困難と見込まれ、産業振興計画から削除とする。

■その他（拡充）

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 36 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進（黒潮町） 【実施主体】（株）なぶら土佐佐賀、黒潮町	道の駅「なぶら土佐佐賀」において、既に取り組んでいる黒潮町や幡多地域の観光情報の発信について、プラン内容に追加する。
2	No. 41 土佐清水まるごと戦略観光展開事業（土佐清水市） 【実施主体】（一社）土佐清水市観光協会、地域活動団体、土佐清水市	観光客の受入態勢については、ソフト対策を主体に取り組んできたが、今後は、ハード面の充実を視野に入れて取り組む予定であり、本取組をプラン内容に追加する。
3	No. 47 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略の構築（四万十市） 【実施主体】（有）せいぶ印刷工房	27年3月～4月に、首都圏において幡多地域の産品を販売するアンテナショップを設置予定であり、本取組をプラン内容に追加する。

幡多地域アクションプラン修正項目(案)

H25 No.	H26 No.	地域アクションプラン項目	修正項目	修正内容
13	12	宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進(宿毛市)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の追加 ・主な内容の追加 ・線表の追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発の取組を記載
15	14	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の追加 ・目標値の修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に人材育成を追加 ・目標数値の上方修正
16	16	サメ漁業の復活に向けた取組(土佐清水市)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の修正 ・線表の修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を新たな加工体制の構築に修正し線表にも記載
37	39	水産物加工施設整備事業(黒潮町)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標項目の追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高を目標項目に追加
38	40	防災関連新産業創造事業(黒潮町)	<ul style="list-style-type: none"> ・線表の修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備、防災関連産業の認定の取組年次を修正

有望素材シート (27年度) (案)

『地域アクションプラン』抜粋過程での有望素材の洗い出し

市町村名	宿毛市	素材名	宿毛湾の養殖魚(ブリ、タイ等)の加工品製造
		関連素材	
現状・課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市内のブリの養殖業者は13社、マダイの養殖業者は30社である。 ・高知県のブリの生産量は年間8,000t・全国5位であるが、その、ほぼ10割を宿毛湾で生産している。また、マダイの生産量は年間5,763t・全国3位でその7割が宿毛湾の生産である。このように、県内の生産量に占める宿毛湾産の養殖魚の割合は、かなり多い。 ・販売形態としては、鮮魚のみを水産飼料会社等の仲介業者を通じて市場に出しており、一般販売はしていない。 ・今年度、宿毛湾の養殖業者が、初めて、宿毛湾の養殖ブリの薫焼きタタキ(同地域の事業者の加工場を活用)を食品の業務筋が集まる商談会に出展した。味は大変好評で、サンプル送付依頼(15社)及び養殖場の視察(3社)があり、加工場の整備が待たれている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛湾の養殖は歴史があり、養殖魚の生育環境も良く、養殖技術に優れているため品質も良いが、全国的な知名度は低い。 ・消費者との直接取引がない為、宿毛湾産の養殖魚の強みやこだわり、付加価値の高い鮮魚であることをPRすることができない。また、飲食店等と商談しても、ニーズのある時期、ロット及び価格に対応する体制ができていない。 ・鮮魚の価格は相場に左右され、養殖業だけでは事業計画が立てにくい為、養殖業の経営者が減少している。 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖漁場の近辺に加工場を整備し、連携事業者の養殖魚を活用した付加価値の高い商品の開発・販路開拓を行う。 ・養殖魚の加工品販売を拡大することで、養殖魚を通年・一定価格で取引ができる、相場に左右されない商品として確立する。 ・今年度から商談中の会社との成約・取引を開始し、さらなる商談会への出展等を通じて外食産業に販路開拓を行う。 ・加工品の販売を通じて宿毛湾の養殖魚の知名度を上げ、漁業の経営の安定及び漁業者不足の解消に繋げる。 		

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	加工場の整備による付加価値の高い養殖魚の加工品の販売
	関係市町村名	宿毛市

事業の概要	<p><加工場整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖漁場の近辺に加工場を建設することで、原魚の鮮度を保持したままの味と質の良い加工品を製造する。 <p><加工品の商品開発及び販売></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年流通が可能な加工品を商品化し、一定価格で販売する。 ・鮮魚の相場に左右されない取引を行う事で、漁業者にとっても安定した売り上げに繋がる。 ・フィレ・タタキ・鮮魚など、多様な商品を加工・保存することで、取引先に応じた商品を提供する。 <p><販路開拓及びPR></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛湾の養殖魚の加工・外商を通じて、宿毛湾産養殖魚のブランド化を目指し、漁業者の減少を防ぐ。 ・同地域の漁業者との連携により、様々な魚種を扱い、取引先の拡大に繋げる。 ・商談会等を通じ、都市部のスーパー及び飲食店を中心に販路拡大し、宿毛湾産の養殖魚の安心安全をPRする。 				
-------	--	--	--	--	--

事業主体	【事業主体】 株式会社勇進 代表取締役 荒木 俊慶
	【関係機関】 宿毛市、宿毛商工会議所

取組手順	前年度 (H26)	事業実施 (H27)	1年後 (H28)	2年後 (H29)	3年後 (H30以降)
加工場の整備・雇用教育		加工場の建設 機械導入(ヘッドカッター・冷凍機・冷凍庫・冷蔵庫・真空包装機・金属探知機)	量産体制の確立 従業員教育(衛生面に特化した教育研修を実施)	従業員教育	新商品用機器の導入(レトルト殺菌や缶詰等にも対応した機械の導入を検討)
商品開発		フィレ・薫焼きタタキ等 スタンダードな商品で、冷凍保存し通年、一定価格で販路拡大に繋げる。	他事業者との連携 沖の島水産等、加工商品を生産している下請けを行い、加工スキルの向上と売上確保に繋げる。		量販店向け商品開発 レトルト商品等、消費者が食べやすく、安価な商品を作り幅広く流通させる。
販路拡大	商談会参加 飲食店等のニーズ調査を実施	前年度から取引打診のある事業者との商談 商談会参加による販路拡大	営業活動強化(飲食店チェーン等に提案) 通年・一定価格での取引。相手に応じた加工を行う。	販路拡大に向けたHPの立上げ	量販店等への販路拡大 試食販売等を行い、幅広く宿毛湾の養殖魚の良さを広める。

項目	前年度 (H26)	事業実施 (H27)	1年後 (H28)	2年後 (H29)	3年後 (H30以降)
売上(千円)		9,728	65,098	94,283	152,653
取引業者(社)		1社	2社	3社	5社
指標・目標	<p>【設定根拠】 【推計の考え方】</p> <p>H27年度: スーパー・卸売業1社(12月～、4ヶ月間の取引を想定)</p> <p>H28年度: 前年度から飲食チェーン1社の増</p> <p>H29年度: 前年度からスーパー等1社の増</p> <p>H30年度: 前年度からスーパー等2社</p>				

総事業費	90,000千円	(うち27年度 千円)	
(内訳 国: 県: 市町村: その他:)			
想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国: 県: 高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援:		
その他:			
備考			

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
			<p>加工品の生産体制の確立</p> <p>加工機設備</p> <p>従業員教育研修の実施(特に衛生面)</p>		売上高	9,728千円
			<p>加工品の商品開発・販路拡大</p> <p>商談会への参加、サンプル送付・工場視察受け入れなどによるニーズ調査・顧客開拓</p>			

削除項目(案)

【橋多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 有望品目への転換を含めた、大方南部地域の産地再生 【黒潮町】	シュウコンカスミソウ、テッポウウリの産地として知られる黒潮町南部地域において、灌漑事業の導入等による新たな花き・野菜等の生産により地域振興を目指す。	・黒潮町 ・JA高知はた	・シュウコンカスミソウの栽培技術向上を推進(H21～23) ・マーケティング調査(H22) ・新たな品目(ダリア4戸、57a)、テマリソウ(3戸、40a)の栽培推進(H21～23) ・省水栽培実証(H24～) ◆機性的水不足である農地に適応できる品目として、ダリア・テマリソウ・ニラ等の可能性があり、有望品目への段階的転換について検討する中で、従来品目であるシュウコンカスミソウおよび転換品目候補であるニラについて、省水栽培技術(点滴栽培)等の実証を取り組み中。 ・用水対策(H24～) ◆黒潮町打建団地の水源池土砂浚渫事業の結果、用水量増加を確認。他の用水不足団地についても事業計画案をとりまとめ、関係農業者への提案を行い合意形成を図る予定。	・消費者の求める品種の栽培と品質向上 ・用水確保(栽培品目の拡大、栽培技術の向上、用水確保のための整備計画策定及び事業化の推進)	◆産地の合意形成(用水対策等) ◆花き・野菜での産地の再生



削除

削除理由

- ・機性的な水不足である大方南部地域において灌漑事業等を導入し、新たな花き、野菜の有望品目への転換を含めた産地再生を行い、地域振興を目指す計画であった。
- ・水不足解消に向け町単独事業や国庫補助事業を導入して灌漑事業の合意形成が得られた団地もあるが、地元負担金が高額になるなどで合意形成が得られない団地もある。
- ・省水栽培技術の導入は図られているが、灌漑事業の工事の完了が平成28年度以降の予定となり、当面は地域での用水の確保が不十分であるため、事業の主目的である有望品目への転換による地域の産地再生が困難と見込まれる。
- ・以上、「灌漑事業の工事完了がH28年度以降の予定になり、当面は主目的である有望品目の転換による産地再生が困難と見込まれる」ことから産業振興計画から削除する。

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
産地の合意形成(用水対策等)					→	花き栽培面積 (H20調査年度: 24.8ha) (H23調査年度: 20ha)	15ha
意向調査、現況調査、用水確保等の合意形成、産地計画の検討			用水事業事業化				
花き・野菜での産地の再生					→	野菜栽培面積 ニラ(H23調査年度: 1.4ha)	6ha
省水栽培技術、有望品目の検討・普及							

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
36 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進 ◀黒潮町▶	地元の魚介類や農産物を使ったレストランや、農林水産物加工品の直販、幡多地域の観光などの情報発信機能を有する施設を黒潮町佐賀地区に整備し、地域が主体的に運営することで、地域の魅力の発掘・発信や消費の拡大、交流人口の拡大を図る。	・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町	・道の駅の整備に向けて、道の駅設立準備委員会で施設内容や運営体制を協議、決定 ・道の駅の名称を町内公募 ◆H25産業振興総合補助金を活用し、道の駅「なぶら土佐佐賀」を整備。あわせて、H26年4月のオープンに向け、道の駅の運営母体となる(株)なぶら土佐佐賀を設立。(H25年度)	・町内の既存類似施設と連携した誘客の促進	◆運営体制の構築 ◆地域資源活用総合交流促進施設整備(農林水産物直売所・飲食施設) ◆商品開発・販売促進



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
38 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進 ◀黒潮町▶	地元の魚介類や農産物を使ったレストランや、農林水産物加工品の直販、幡多地域の観光などの情報発信機能を有する施設を黒潮町佐賀地区に整備し、地域が主体的に運営することで、地域の魅力の発掘・発信や消費の拡大、交流人口の拡大を図る。	・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町	・道の駅の整備に向けて、道の駅設立準備委員会で施設内容や運営体制を協議、決定。 ・道の駅の名称を町内公募。 ・道の駅の運営母体となる、(株)なぶら土佐佐賀を設立(H25.10月)。 ◆H25産業振興総合補助金を活用し、道の駅「なぶら土佐佐賀」施設を整備(H26.4月:オープン)。 ・幡多地域の東の玄関口として、観光客等からの問い合わせ等も多くあり、パンフレットやインフォメーションコーナーで対応している。	・町内の既存類似施設と連携した誘客の促進	◆運営体制の構築 ◆地域資源活用総合交流促進施設整備(農林水産物直売所・飲食施設) ◆商品開発・販売促進 ◆観光案内等機能充実・強化

修正後

修正理由

・線表に観光案内等機能の充実・強化について追加した。

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
運営体制の構築 仕組みづくりの検討		運営主体の検討、決定			雇用者数	正規 5名 フル・パート 14名
地域資源活用総合交流促進施設整備 (農林水産物直売所・飲食施設)		敷地造成工事 建築施設詳細設計		施設建築工事 備品整備		
		商品開発・販売促進 施設運営開始			売上額	160,000千円
		・地域食材を活用した特産品 ・飲食施設提供メニュー ・体験観光メニュー				



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
運営体制の構築 仕組みづくりの検討		運営主体の検討、決定			雇用者数	正規 5名 フル・パート 14名
地域資源活用総合交流促進施設整備 (農林水産物直売所・飲食施設)		敷地造成工事 建築施設詳細設計		施設建築工事 備品整備		
		商品開発・販売促進 施設運営開始			売上額	160,000千円
		・地域食材を活用した特産品 ・飲食施設提供メニュー ・体験観光メニュー				
		観光案内等機能充実・強化				
		・町や観光広域、町内関連施設等との連携・強化				

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
41 土佐清水まるごと戦略観光展開事業 《土佐清水市》	観光産業を地域の戦略的産業と位置づけ、農業・漁業・商業等と連動した地域まるごと観光を推進するため、食・体・商を集約した海の交流拠点施設として「海の駅」を核に、観光ニーズに即応できるワンストップサービスを推進する。	・(一社)土佐清水市観光協会 ・地域活動団体 ・土佐清水市	・龍馬博・ふるさと博と連動した各種イベントの開催(H22～23) ◆土佐清水市海の駅に市観光協会事務局を設置。ジョン万次郎資料館および龍馬博・ふるさと博のサテライト会場として、「海の元気祭」等、様々なイベントを開催。その結果、H22観光入込客はH23目標を上回った。 一方、市や観光協会・関係団体とも、震災以降の宿泊客や各観光施設入場者、旅行消費額の減少に危機感を抱いており、今後のイベント、観光PR、誘致活動、個人観光客へのきめ細かな対応、体験型修学旅行受入等での連携強化を目指している。	・消費額の減少 ・滞在時間を長くするための取組(体験型観光メニュー充実、食の魅力発信、イベント開催、2次交通対策(自転車の活用)など) ・官民一体となった誘致活動、効果的なPRの継続	◆地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの作成 ◆誘致・プロモーション活動の推進



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
43 土佐清水まるごと戦略観光展開事業 《土佐清水市》	観光産業を地域の戦略的産業と位置づけ、農業・漁業・商業等と連動した地域まるごと観光を推進するため、食・体・商を集約した海の交流拠点施設として「海の駅」を核に、観光ニーズに即応できるワンストップサービスを推進する。また、体験型観光をはじめ、教育やスポーツ、国産観光等の面においても連携強化及び受入態勢の整備・充実を図り、滞在日数の延長及び消費の拡大等へ向け、地域による戦略観光を展開する。	・(一社)土佐清水市観光協会 ・地域活動団体 ・土佐清水市	・龍馬博・ふるさと博と連動した各種イベントの開催(H22～23) ◆土佐清水市海の駅に市観光協会事務局を設置。ジョン万次郎資料館および龍馬博・ふるさと博のサテライト会場として、「海の元気祭」等、様々なイベントを開催。その結果、H22観光入込客はH23目標を上回った。 一方、市や観光協会・関係団体とも、震災以降の宿泊客や各観光施設入場者、旅行消費額の減少に危機感を抱いており、今後のイベント、観光PR、誘致活動、個人観光客へのきめ細かな対応、体験型修学旅行受入等での連携強化を目指している。	・消費額の減少 ・滞在時間を長くするための取組(体験型観光メニュー充実、食の魅力発信、イベント開催、2次交通対策(自転車の活用)など) ・官民一体となった誘致活動、効果的なPRの継続	◆地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの作成 ◆誘致・プロモーション活動の推進 ◆受入(実施)態勢の整備・充実

修正後

修正理由

-受入体制の充実・強化を項目に追加した。

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成					地域滞在時間増による消費額増、交流人口拡大	宿泊者数 入込客数 (H22:86.9万人)	82万人
「清水サバ」「メジカ」をはじめとした「食」や「偉人」「自然」を活用した体験プログラムの造成及び地域のプレイヤー支援							
誘致・プロモーション活動の推進					地域の再ブランド化 個人客への浸透		
<ul style="list-style-type: none"> ・にし阿波地域との商品造成、ブランド化、PR ・えひめいやし博、四国Cルート協議会合同誘致事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊と体験をセットにした商品販売 ・個人客向けのプロモーション展開 ・(一社)種多広域観光協議会との連携 					



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成					地域滞在時間増による消費額増、交流人口拡大	宿泊者数 入込客数 (H22:86.9万人)	82万人
「清水サバ」「メジカ」をはじめとした「食」や「偉人」「自然」を活用した体験プログラムの造成及び地域のプレイヤー支援							
誘致・プロモーション活動の推進					地域の再ブランド化 個人客への浸透		
<ul style="list-style-type: none"> ・にし阿波地域との商品造成、ブランド化、PR ・えひめいやし博、四国Cルート協議会合同誘致事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊と体験をセットにした商品販売 ・個人客向けのプロモーション展開 ・(一社)種多広域観光協議会との連携 					
					受入(実施)態勢の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・体験、教育、スポーツ、国際観光等様々なスタイルに対応した施設設備等の整備 ・宿泊、食事、土産等消費拡大へ向けた施設設備等の整備 ・地域活動団体の運営体制及び機能の維持、強化に必要な整備等 		

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
47 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略の構築 《四万十市》	四万十市の漁業、農家・加工業者、販売者が連携し、四万十素材を中心として加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	・有限会社せいぶ印刷工房			◆自社商品の強化 ◆地域商社としての役割強化



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略の構築 《四万十市》	四万十市の漁業、農家・加工業者、販売者が連携し、四万十素材を中心として加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	・(有)せいぶ印刷工房	・四万十市の事業者で組織する「四万十市地域商品研究会」を設立し、会員のスキルアップに向けて研究会を継続開催(H26) ・加工スペースの増築(H26) ◆26年度に設立した研究会は、四万十市における土産品を生み出すことを当面の具体的な目標として活動している。	・商品アイテムの増	◆自社商品の強化 ◆地域商社としての役割強化

修正後

修正理由

・H27. 4月から東京で幡多地域の商品を販売するアンテナショップを開店する予定であり線表を追加

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
		自社商品の強化 施設・設備等整備 商品開発・試作・パッケージデザイン・市場調査・PR 販路拡大			商品売上高 (H25:23,000千円)	30,000千円
		地域商社としての役割強化 四万十市地域商品研究会設 研究会でのスキルアップ、ブラッシュアップ				



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
		自社商品の強化 施設・設備等整備 商品開発・試作・パッケージデザイン・市場調査・PR 販路拡大			商品売上高 (H25:23,000千円)	30,000千円
		地域商社としての役割強化 四万十市地域商品研究会設 研究会でのスキルアップ、ブラッシュアップ 首都圏で種多地域の商品を販売するアンテナショップの展開				

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進 《宿毛市》	民間事業者による宿毛湾の魚の利用促進・消費拡大及び地元雇用の創出を目指す。	・(株)ピアサーデー	・加工施設の整備(H22) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、施設整備。H22売上高は1.4億円、H23は1.6億円、H24は1.8億円と若干計画を下回っているが、経営は安定している。 また、施設の規模拡大により、衛生管理面の向上とあわせて、新たに贈答用商品の製造や、急速冷凍施設の導入により刺身用食材の提供が可能となるなど、今後の展開が期待できる。	・雇用の確保 ・冷凍技術の確立	◆生産体制の充実



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進 《宿毛市》	民間事業者による宿毛湾の魚の利用促進・消費拡大及び地元雇用の創出を目指す。	・(株)ピアサーデー	・加工施設の整備(H22) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、施設整備。H22売上高は1.4億円、H23は1.6億円、H24は1.8億円、H25は2.0億円と若干計画を下回っているが、経営は安定している。 また、施設の規模拡大により、衛生管理面の向上とあわせて、新たに贈答用商品の製造や、急速冷凍施設の導入により刺身用食材の提供が可能となった。さらに、新商品の開発や販路開拓に着手するなど、新たな試みも開始しており、今後の展開が期待できる。	・雇用の確保 ・冷凍技術の確立 ・商品ラインナップの増	◆生産体制の充実 ◆新商品の開発

修正後

修正理由

・主な内容に「新商品の開発」を追加し、縦表も同取組を追加

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					年間売上 (H22:1.4億円)	2.7億円
生産体制の充実						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					年間売上 (H22:1.4億円)	2.7億円
生産体制の充実						
新商品の開発						

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業 《宿毛市》	ブリやカツオ等、宿毛近海で獲れる魚を活用し、消費者ニーズに基づく商品開発・生産体制充実・販売促進に取り組むことで、地域ブランド確立および原材料そのものの付加価値化を図る。	・(株)沖の島水産	・県「弥太郎！商人塾」参加(H22,H23,H25) ・県ステップアップ事業による冷凍施設整備、パッケージデザイン、販売促進の実施(H23) ・県産業振興総合補助金活用による加工施設整備(H25) ◆加工品売上高は、H22:800万円、H23:1,929万円、H24:4,209万円と飛躍的に伸びている。また、H25加工施設整備により、衛生管理面の向上、生産体制の強化充実を図ることが出来たことで、今後の展開が期待できる。	・販路の拡大 ・消費者ニーズに応じた新商品の開発	◆生産体制の充実強化 ◆商品開発と販売促進



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業 《宿毛市》	ブリやカツオ等、宿毛近海で獲れる魚を活用し、消費者ニーズに基づく商品開発・生産体制充実・販売促進に取り組むことで、地域ブランド確立および原材料そのものの付加価値化を図る。	・(株)沖の島水産	・県「弥太郎！商人塾」参加(H22,H23,H25,H26) ・県ステップアップ事業による冷凍施設整備、パッケージデザイン、販売促進の実施(H23) ・県産業振興総合補助金活用による加工施設整備(H25・H26) ◆加工品売上高は、H22:800万円、H23:1,929万円、H24:4,209万円、H25:7,158万円と順調に伸びている。また、H25・H26の加工施設整備により、衛生管理面の向上とあわせ、生産体制の強化充実を図ることができ、今後の展開が期待できる。	・人材育成 ・販路の拡大 ・消費者ニーズに応じた新商品の開発	◆生産体制の充実強化 ◆商品開発と販売促進

修正後

修正理由

目標値上方修正(6,867万円→11,000万円)・・・販促活動によりH27目標値を大幅に上回ったこと、及び、加工施設整備に伴い生産体制が整ったことにより上方修正した。

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
生産体制の充実強化					→	売上高 (H22:800万円)	6,867万円
事業計画の作成		生産体制の強化					
施設・設備等の整備							
商品開発と販売促進					→		
パンフレット・HP作成							
各種展示会・商談会等への参加							
新商品開発							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
生産体制の充実強化					→	加工品売上高 (H22:800万円)	11,000万円
事業計画の作成		生産体制の強化					
施設・設備等の整備							
商品開発と販売促進					→		
パンフレット・HP作成							
各種展示会・商談会等への参加							
新商品開発							

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 サメ漁業の復活に向けた取組 《土佐清水市》	サメ肉の加工品の開発と販路開拓により、サメ漁業が成立する浜値で取引される仕組みを構築するとともに、サメによる漁業被害の軽減を図る。	土佐清水市水産振興協議会	<ul style="list-style-type: none"> -原料確保(H21~23) ◆サメ漁試験操業等を行い、安定した価格で買い上げ、加工商品とすることで、サメ漁業復活のきっかけづくりとなった。 -商品開発(H21~22) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、商品開発を継続。主にサメ肉に関して、人間用製品やペットフードを開発。人間用製品の売れ行きは芳しくないが、ペットフードに関しては、従来販売されている商品に比べ、節納屋(宗田節加工場)で加工することによってアンモニア臭が抑えられ、ペットの嗜好性が非常に高いものに仕上がった。 -販路開拓(H21~23) ◆人間用製品については、地元の土産物売り場や居酒屋などに出荷中。ペットフードについては、大手ペット用品業者等と取引中。 -製造コストの削減(H24~25) ◆製造コストがかかり過ぎており、製造元の利益の確保が不十分であったため、原価価格の値下げ及び新たな原魚入手方法を導入した。その結果、製造元に十分な利益が確保される仕組みとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> -コストの削減 -ペットフードの安定した販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆原料の安定的な確保と、そのための漁業者の確保 ◆コスト削減に向けた取組 ◆ペットフード製品の需要拡大に向けた取組



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 サメ漁業の復活に向けた取組 《土佐清水市》	サメ肉の加工品の開発と販路開拓により、サメ漁業が成立する浜値で取引される仕組みを構築するとともに、サメによる漁業被害の軽減を図る。	土佐清水市水産振興協議会	<ul style="list-style-type: none"> -原料確保(H21~23) ◆サメ漁試験操業等を行い、安定した価格で買い上げ、加工商品とすることで、サメ漁業復活のきっかけづくりとなった。 ◆マグロ船用船による横断でのサメ漁獲方法の検討を行い、H27から試験操業開始予定(H26~)。 -商品開発(H21~22) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、商品開発を継続。主にサメ肉に関して、人間用製品やペットフードを開発。人間用製品の売れ行きは芳しくないが、ペットフードに関しては、従来販売されている商品に比べ、節納屋(宗田節加工場)で加工することによってアンモニア臭が抑えられ、ペットの嗜好性が非常に高いものに仕上がった。 -販路開拓(H21~23) ◆人間用製品については、地元の土産物売り場や居酒屋などに出荷中。ペットフードについては、大手ペット用品業者等と取引中。 -製造コストの削減(H24~25) ◆製造コストがかかり過ぎており、製造元の利益の確保が不十分であったため、原価価格の値下げ及び新たな原魚入手方法を導入した。その結果、製造元に十分な利益が確保される仕組みとなった。 ◆サメ肉の加工を行っていた加工場が、経営不振のため廃業し、サメ肉の加工-販売が中断した。 	<ul style="list-style-type: none"> -加工を担っていた加工場に代わる新たな加工体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◆原料の安定的な確保と、そのための漁業者の確保 ◆コスト削減に向けた取組 ◆ペットフード製品の需要拡大に向けた取組

修正後

修正理由

-サメ肉加工事業者が廃業したことによる課題の修正及び繰表の修正

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
原料の安定的な確保と、そのための漁業者の確保				→	安定したサメの漁獲量 (H22:1.4t)	10t
漁業者のサメに対する漁獲意欲及び漁獲技術の向上と維持						
コスト削減に向けた取組				→		
製造ラインのコスト削減の検討						
原魚の安価仕入に向けた取組				→		
ペットフード製品の需要拡大に向けた取組						
製造業者及び大手ペット会社による商品の営業力強化				→		



第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
原料の安定的な確保と、そのための漁業者の確保				→	安定したサメの漁獲量 (H22:1.4t)	10t
漁業者のサメに対する漁獲意欲及び漁獲技術の向上と維持						
コスト削減に向けた取組				→		
製造ラインのコスト削減の検討						
原魚の安価仕入に向けた取組				→		
ペットフード製品の需要拡大に向けた取組						
製造業者及び大手ペット会社による商品の営業力強化				→		
新たな加工体制構築に向けての検討						

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
37 水産物加工施設整備事業 《黒潮町》	これまで以上の衛生管理・品質管理が可能で、生産拡大が図れる水産物加工施設を整備することにより、さらなる販売拡大を目指す。それにより、地域内の漁業者の所得拡大を図る。あわせて、生産従事者の技術力向上、営業面での充実を行い、地域での雇用を拡大する。	(有)土佐佐賀産直出荷組合	積極的な販促活動(H24～) ◆町単支援事業等を活用し、積極的な販促活動に取り組む中、取引業者数は年々増加している。(H23:40社、H24:60社) ◆商品開発(H24～) ◆地域の魚の残渣も捨てずに使用する丁寧な商品開発へ力を入れ、ラインナップを増やしている。(新商品開発数=H23:3種、H24:1種、H25:5種) ◆H24、25と連続で、「むらおこし特産品コンテスト(全国商工会連合会)」審査員特別賞を受賞。 ＜受賞商品＞ H24:きびなごフィレ H25:きびなごペースト	取引増加に伴う、増産体制整備 衛生管理面の整った施設整備	◆販路開拓・販売促進 ◆加工体制の整備 ◆生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
39 水産物加工施設整備事業 《黒潮町》	これまで以上の衛生管理・品質管理が可能で、生産拡大が図れる水産物加工施設を整備することにより、さらなる販売拡大を目指す。それにより、地域内の漁業者の所得拡大を図る。あわせて、生産従事者の技術力向上、営業面での充実を行い、地域での雇用を拡大する。	(有)土佐佐賀産直出荷組合	積極的な販促活動(H24～) ◆町単支援事業等を活用し、積極的な販促活動に取り組む中、取引業者数は年々増加している。(H23:40社、H24:60社、H25:70社) ◆商品開発(H24～) ◆地域の魚の残渣も捨てずに使用する丁寧な商品開発へ力を入れ、ラインナップを増やしている。(新商品開発数=H23:3種、H24:1種、H25:5種) ◆H24、25、26と3年連続で、「むらおこし特産品コンテスト(全国商工会連合会)」審査員特別賞を受賞。 ＜受賞商品＞ H24:きびなごフィレ H25:きびなごペースト H26:きびなご魚骨 ◆産地補助金の採択、交付決定(H26.10月)を受け、新たに加工施設を整備(H27.5月末完成予定)。	取引増加に伴う、増産体制整備 衛生管理面の整った施設整備	◆販路開拓・販売促進 ◆加工体制の整備 ◆生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり

修正後

修正理由

目標項目として売上高を追加した。

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
→					新規雇用	5名
販路開拓・販売促進						
		ウェブの活用・強化				
		既存販路の拡大				
		新規販路の開拓				
→						
加工体制の整備						
	基本計画	施設整備				
	雇用の継続・新規雇用の創出					
→						
生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり						
	原材料確保の安定化・買い支え					
	生産・加工技術の向上					
	魚食普及活動の推進					



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
→					新規雇用	5名
販路開拓・販売促進						
		ウェブの活用・強化				
		既存販路の拡大				
		新規販路の開拓				
→						
加工体制の整備					売上高 (H25: 73,085千円)	115,000千円
	基本計画	施設整備				
	雇用の継続・新規雇用の創出					
→						
生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり						
	原材料確保の安定化・買い支え					
	生産・加工技術の向上					
	魚食普及活動の推進					

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
38 防災関連新産業創造事業 《黒潮町》	農水産物等、地域産品を活用した防災関連食品の製造・販売体制を構築し、「地産」「地消」「外資」を図ることで、雇用機会の創出はもちろん、地域生産者の所得向上につなげていく。	・黒潮町 ・黒潮町の設立する第三セクター			◆施設・体制の充実強化 ◆商品開発・販路開拓



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
40 防災関連新産業創造事業 《黒潮町》	農水産物等、地域産品を活用した防災関連食品の製造・販売体制を構築し、「地産」「地消」「外資」を図ることで、雇用機会の創出はもちろん、地域生産者の所得向上につなげていく。	・黒潮町 ・(株)黒潮町缶詰製作所	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町が出資主体となる(株)黒潮町缶詰製作所を設立(H26.3月) ・加工施設整備(H26.3月) ・缶詰商品が5アイテム完成し、町内の道の駅で販売(H26) ・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業を導入し、缶詰製造機を整備(H26) ・こうちビジネスチャレンジプランにて「備前」を受賞(H26) ・大口の受注が見込まれる大手小売店との取引が決定(4月から出荷予定)(H26) ◆商品アイテム数は順調に増え5アイテムとなった。 ◆大手小売店との取引が決定し、大口受注が見込まれることとなったが、需要に対応しうる生産量の拡大が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> -生産量の拡大 -商品アイテム数の増 -自社販売等の増強など販路の冗長化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設・体制の充実強化 ◆商品開発・販路開拓

修正後

修正理由

・26年度から実施予定であった施設整備及び防災関連産業の認定に向けた取組を27年度以降の取組とすることによる繰表の修正

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
					売上高	74,000千円	
	施設・体制の充実強化						
	包装食品技術管理者資格取得		HACCPの取得				
	事業計画策定	法人化	組織体制の強化				
	基本設計	ラボ建築	実施設計	施設・設備等整備			
	商品開発・販路開拓						
	新商品の開発						
	国内外の商談会への参加						
		高知県防災関連産業の認定					



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
					売上高	74,000千円	
	施設・体制の充実強化						
	包装食品技術管理者資格取得		HACCPの取得				
	事業計画策定	法人化	組織体制の強化				
	基本設計	ラボ建築	実施設計	施設・設備等整備			
	商品開発・販路開拓						
	新商品の開発						
	国内外の商談会への参加						
		高知県防災関連産業の認定					

